



FANBOX

アレクシアと交渉中……

マッサージの
評判がいいのは私も聞いてるし
そこまで言うのなら
仕方なく受けてあげるけど……

おかしいことをしたら
タダじゃおかないからね

いつも通りなんだかんた言いくるめてマツサーズまで漕ぎ着けたモブ二人
（媚薬睡眠薬は投入済み）

「ちよつと……さつきから覗き込んでるようには見えるけど
本当に下着は見えてないんでしょうね」

「そこは大丈夫っす！」

「こっちからは見えてないから安心してください！」

「本当？ならいいんだけど」

（本当は見えてるんだけど意外とバレないですね）

（股に顔埋めて）



「ツツいったー！これってちゃんと効いてるんでしょっかね!」
「ぐえっ……け、蹴らないでください!」
いえ、もっと蹴ってください!

「痛むのは効いてる証拠だからそのまま我慢してくださいねー」
「んっっ……くっっー!はあっ」
「痛いだけじゃない……なんだかアソコがムズムズするけど、
これって本当にマッサージだけの効果なの!」



「な、なあ……なんか様子が少しおかしくねーか？」
「媚薬の効果がもう出てきたのか」
「軽くイッてるようにも見えるんですけど」
「ならもっとマッサージ頑張るしかねえよなあ！」

んんっ♡♡

じゃん♡

ビクッ♡

ビクッ♡

「血行を良くするために足の付根まで揉みますねー」

「ふっ……んっ、構わないわよそれくらい……っっ！」

「大胆に触ってもバレないくらい堪えてますよ」

「もうパンツも隠す余裕もないみたいだしもっと間近で拝もうぜ」

10分後

「はぁ……はぁ……痛みを我慢したら少し気持ちよくなってきたわ
噂通り結構上手いじゃないの」

「少し落ち着いてきたみたいっすね」

「血行も良くなって全身すっきりしてきたんじゃないでしょうか？」

「……すー……すー……」

「ア、アレクシアさん？」

「眠かったら暫くお休みしてください。」

「時間が来たら起こしますんで」

「うーん……そうしてちょうだい……すー……すー……」

「……変なことしたらぶつ殺すから……すー……すー……」

「睡眠薬が効いてきたようですね」

「なんか最後に物騒なこと言ってたけど大丈夫だよな」

「パンツも濡れてきてるし媚薬効果もばっちりみたいですわね」

す

す

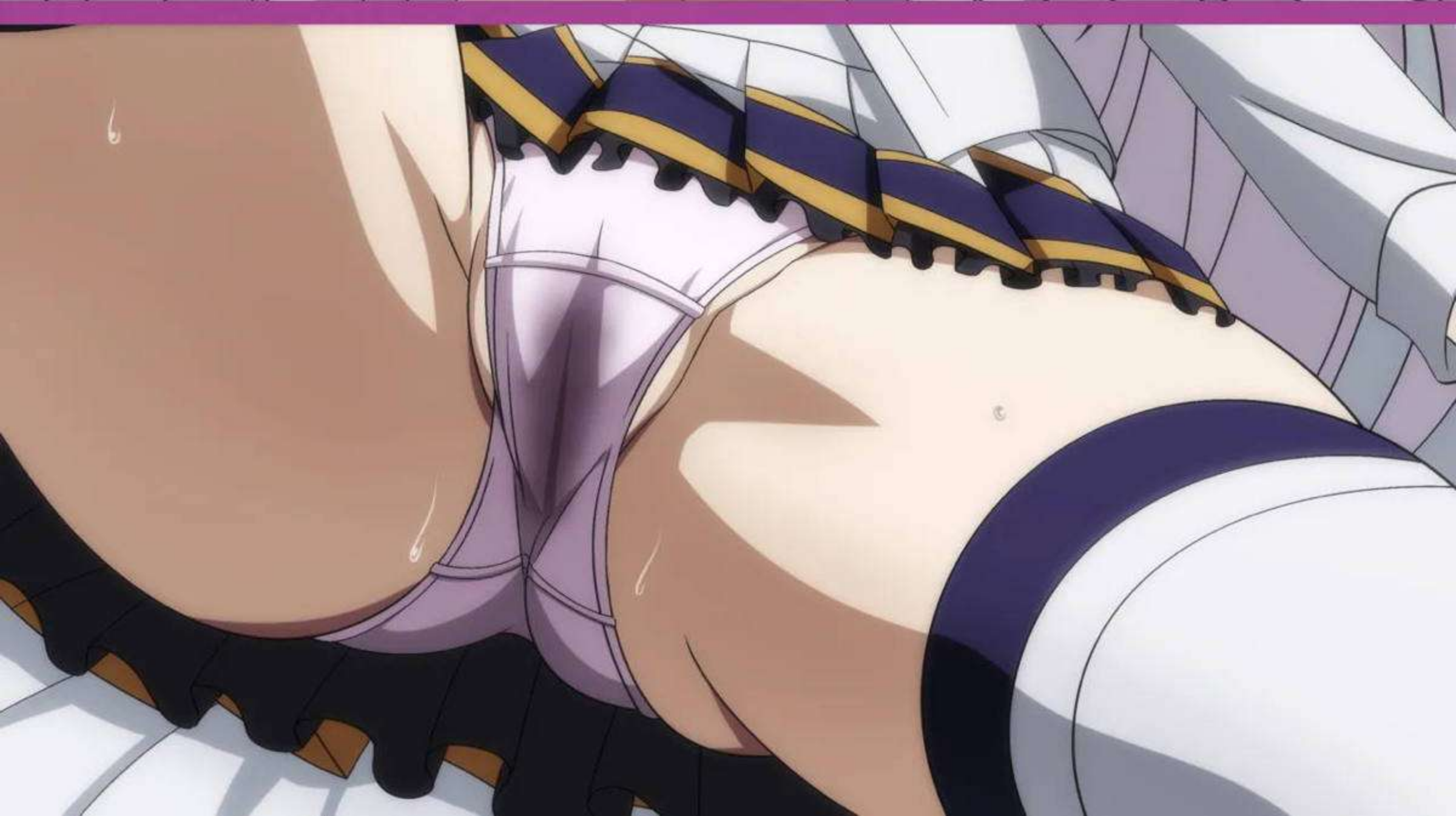
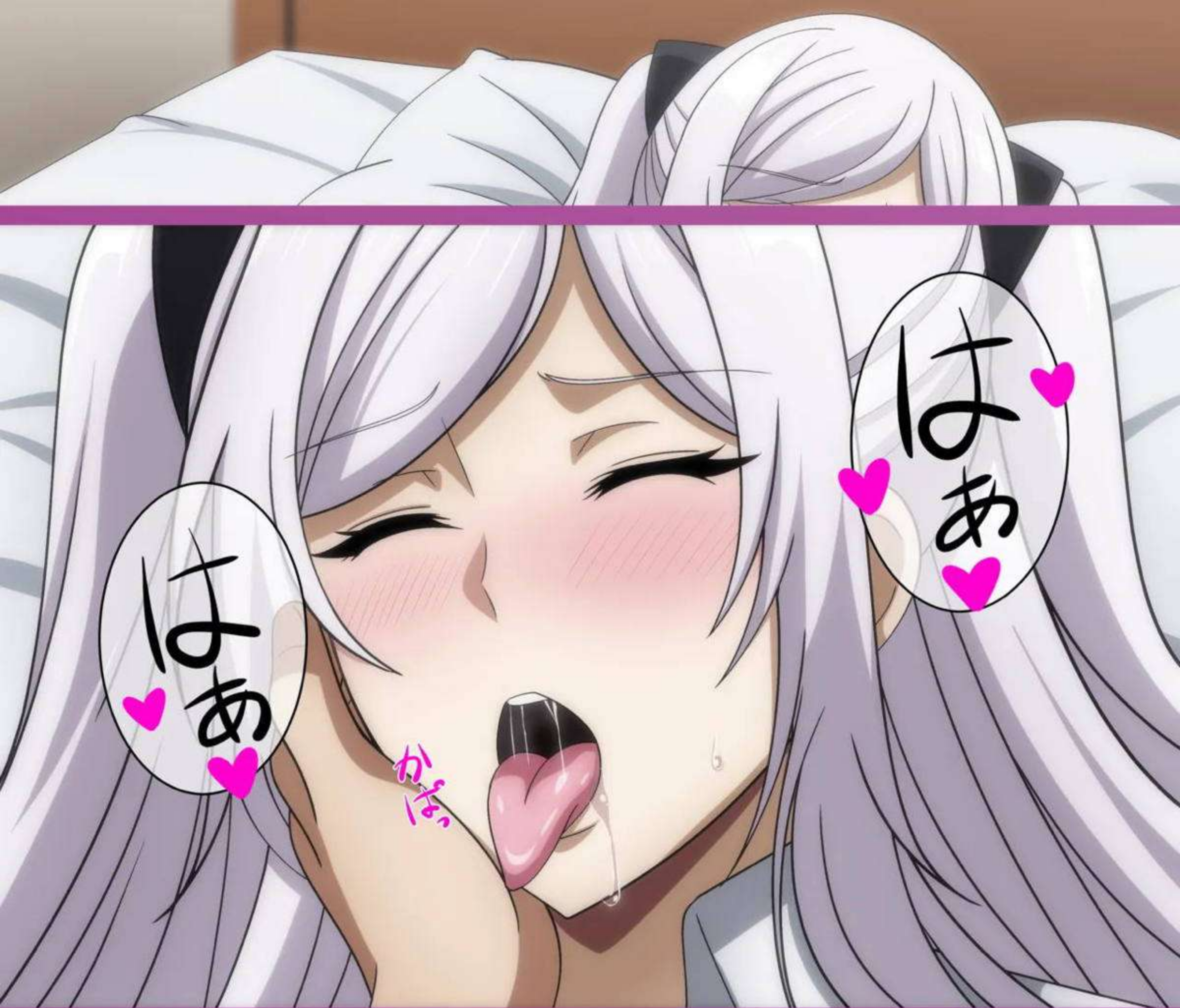
「意外とスムーズにここまで出来ましたね」

「もっと抵抗されるかと思ったけど媚薬の効きが良かったな」

「最後の方無意識にオナってたしもうパンツもぐしよぐしよですね」

「相手が相手だけにバレたら洒落にならないからとつとと始めようぜ」







ズグズグ♡

はは♡

はは♡

ビク♡

クチュ♡

はは♡

はは♡

クチュ♡



んんん♡♡♡

ゴクン

ゴクン

めっちゃ♡

いはい♡

いはい♡

グチュ♡
グチュ♡





んん...

ビクッ

あッ

ビクッ

ブルブル

ブルブル

どろろ

「勢い余って王女相手に中出ししちゃいましたけど大丈夫でしょうか……」
「ま、まあ薬には避妊効果もあるらしいし多分大丈夫だろ」

はあ♡

はあ♡

「しかしこの媚薬凄いな……いつも供給してくれる

あの紫髪のお姉さんに感謝しないとな」

「一体何者なんでしょうね。詮索はするなと釘を刺されましたけど」













